仕様書（カタログ品）

1．件名　　タイムラプス計測装置一式の購入

2．数量　　一式

構成内訳　1）タイムラプス計測装置本体
2）コントローラ
3）遠隔操作用パソコン
4）遠隔操作用ソフトウェア
5）CO_2インキュベーター
（搬入及び据付、調整等を含む。）

3.目的　　哺乳類細胞を生かしたまま位相差像と多重蛍光像をタイムラプスイメージングするため

4.納入期限　　平成 26 年 3 月 31 日

5.納入場所　　第 2 研究棟 1 階 G101 室

6．仕様・性能・業務内容

（仕様・性能）

以下の要件を満たすこと。技術的要件は必須の要求要件であり、満たされないと判断された場合には不合格となり、落札対象外とする。

6－1　位相差・蛍光タイムラプスイメージング装置であること。
6－2　過酸化水素ガス耐性と、高湿度環境（95%RH 以下）への耐性があること。
6－3　位相差、蛍光 GFP、蛍光 RFP の観察モードがあること。
6－4　フォーカス、倍率切換、XY ステージ、調光が PC で遠隔操作できること。
6－5　位相差観察は、赤色 LED（波長 627 nm）を照明とすること。
6－6　励起波長/蛍光波長は、GFP : 475 nm/525 nm、RFP : 560 nm/630 nm であること。
6－7　対物レンズは、ニコン製 CFI Plan Fluor DL10×であること。
6－8　4 倍、10 倍、20 倍の倍率切換（光学変倍）ができること。
6－9　CCD カメラは、モノクロ、1344×1024 ピクセル、約 138 万画素であること。
6－10　視野サイズは、4 倍 : 1.56×1.19 mm、10 倍 : 0.62×0.47 mm、20 倍 : 0.31×0.23 mm であること。
6－11　フォーカスは、ストローク 5 mm、最小調整幅 1μm ピッチであること。
6－12　オートフォーカスはサーチ幅±75μm であること。
6－13　XY（Rθ）ステージは、FALCON 社製 35 mm ディッシュ専用で、ディッシュ固定穴 5 ヶ所、最小調整幅 1μm ピッチ、位置再現精度±5μm 以下であること。
6－14　サイズはφ285×H 350 mm、重量は約 10 kg 以下であること。
6－15　コントローラは、電源 AC 100 V（200 VA）、使用環境 0℃～40℃、80%RH 以下、サイズ H 210×W 133×D 280 mm、重量約 5 kg 以下であること。

６－１６　パソコンは、OS: Windows7 Professional（32bit 版）、CPU: Corei5-3320M プロセッサー（2.60GHz）、メモリ: 4GB、HDD: 500 GB、液晶: 15.6 型 HD と同等、あるいはそれ以上の性能を持ち、本体との接続には USB ポートを使用すること。

６－１７　ソフトウェアは、タイムラプス撮影（撮影位置・撮影条件の設定）、オートフォーカス、動画作成、蛍光疑似カラー表示、位相差＋蛍光像の重ね合わせができること。

６－１８　タイムラプス撮影ソフトウェアでは撮影箇所を一度に 100 ポイント以上登録できること。

６－１９　CO_2インキュベーターはダイレクトヒーティングエアジャケット式で、外形寸法：457×543×632Hmm、庫内有効寸法 320×410×400Hmm、φ30mm 以上のケーブル孔があること。

（仕様・性能以外）

・搬入据付及び調整等

６－２０　調達物品の搬入及び据付、稼働のための調整等を行うこと。

６－２１　装置の納入設置場所については、当研究所と協議すること。

６－２２　搬入及び据付、調整にあたり建物の改修等を行う必要が生じた場合は、納入者の負担で行うこと。なお、納入場所の面積、設備等の詳細は当研究所に問い合わせること。

６－２３　装置の設置にあたり別途電源、配線、配管等を必要とする場合は、納入者の負担で行うこと。なお、現在準備している電源、配線、配管等については、当研究所に問い合わせること。

・障害支援体制

６－２４　故障連絡体制が整備されていること。

６－２５　障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。

６－２６　本調達物品の保証期間は安定稼働時から１年間とし、その間、無償にて定期点検、調整、修理等を随時行うこと。

６－２７　調達物品は、納入後においても稼働に必要な消耗品、及び故障時に対する交換部品の安定した供給が確保されていること。

７．検査　　納入完了後、当研究所職員が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

８．その他

８－１　取扱説明書は日本語版で２部以上提供すること。

８－２　取扱説明を行うこと。

８－３　調達物品には、基本的機能を損なわないよう必要な物品を備えること。

８－４　導入装置の円滑な運用を実現するため、装置導入時に技術的情報提供を行うこと。

（要求者）

部課（室）名：放射線防護研究センター
リスク低減化研究プログラム

氏名：　小池　学